

資料

1 沿革

- 明治 43 年 宮古町（現：宮古市）にあった岩手県立水産学校の校舎の一部に、岩手県水産試験場を創設。試験部、庶務部の2部制で発足
- 大正 9 年 水産試験場庁舎を釜石町只越（現：釜石市）に移転新築
- 昭和 2 年 津軽石、大槌、釜石さけ人工ふ化場を水産試験場に移管
- 4 年 2 月、水産試験場に漁業用海岸局（無線局）を設置
- 8 年 昭和8年3月3日の三陸大津波で、大槌さけ人工ふ化場設備の一切を流失
- 14 年 水産試験場庁舎及び漁業用海岸局を釜石市新浜町に移転新築
- 23 年 水産試験場に漁船技術員養成所を併設
- 24 年 組織を庶務会計部、漁労部、養殖部、製造部の4部制に改編
- 25 年 気仙郡赤崎町に赤崎実験所を開設
- 27 年 組織を庶務会計部、資源調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 28 年 気仙郡広田町に水産試験場気仙分場を開設。組織を庶務会計部、漁労調査部、製造部の3部制に改編
- 31 年 漁業用海岸局（無線局）を釜石市大平地区に移転新築
- 35 年 組織を庶務部、漁撈調査部、増殖部、製造部の4部制に改編
- 36 年 製造部を利用部に改称
- 42 年 宮古市大沢に水産種苗センターと下閉伊分場を開設
- 44 年 水産試験場庁舎及び附属施設を新築
- 45 年 久慈市に水産試験場九戸分場を開設
- 48 年 機構改革により庶務部、漁撈調査部、利用部、環境保全部、増殖部の5部制に改組
新たに専門技術員が駐在。翌49年、漁撈調査部を漁業部に、利用部を加工部に改称、専門技術員を室に改め5部1室制に組織改編
- 53 年 専門技術員を林業水産部漁業振興課に移管
- 54 年 大船渡市末崎町に岩手県栽培漁業センターを開設
- 55 年 宮古市津軽石に下閉伊分場を移転、開設
- 56 年 機構改革により気仙分場、赤崎実験所、水産種苗センターを廃止。水産試験場の増殖部と下閉伊分場、九戸分場を栽培漁業センターに移管、下閉伊分場を宮古分場、九戸分場を久慈分場と改称。水産試験場の組織を庶務部、漁業部、加工部、環境保全部の4部制に改編
- 57 年 加工実験室を開放実験室として業者に開放
- 62 年 九戸郡種市町に北部栽培漁業センターを開設。大船渡市末崎町の栽培漁業センターを南部栽培漁業センターに名称変更
- 平成 元年 漁船技術員養成所を廃止
- 6 年 3 月、釜石市平田に庁舎移転新築。水産試験場及び南部、北部栽培漁業センターをそれぞれ大船渡研究室、種市研究室に統合して岩手県水産技術センターに機構改革。宮古分場の名称をさけ・ます研究室に改称。総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、増養殖部、種苗開発部、漁場保全部、さけます研究室の7部1室制に改組。久慈分場は廃止
- 9 年 さけます研究室業務を漁業資源部が所管し、職員は漁業資源部員（3名）が兼務
- 11 年 組織改編により水産業専門技術員を本庁から水産技術センターへ移管
- 13 年 宮古市津軽石のさけ・ます研究室を廃止
- 18 年 岩手県行財政構造改革プログラムにより総務部、企画指導部、漁業資源部、利用加工部、増養殖部及び漁場保全部の6部制に改編

- 19年 マナマコ種苗生産技術開発のため（社）岩手県栽培漁業協会種市事業所に駐在職員を派遣
 21年 マナマコ種苗生産技術確立により（社）岩手県栽培漁業協会種市事業所への職員駐在終了
 22年 水産試験場開設から100周年を迎える
 23年 東日本大震災津波によりセンター施設が被災
 26年 被災した施設の復旧工事終了
 28年 台風10号により県北ふ化場施設が被災
 31年 県北ふ化場施設解体撤去

2 職員名簿

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
所 長 神 康 俊	
副 所 長 太 田 克 彦	R6.4.1 転入（前任・農林水産部水産振興課）
副所長兼漁場保全部長 西 洞 孝 広	
首席水産業普及指導員 山 野 目 健	R6.4.1 転入（前任・沿岸広域振興局水産部）
総 務 部	
主 幹 兼 部 長 佐々木博昭	
主 事 佐 藤 碩 紀	
主 事 菅 原 宏 太	R6.4.1 転入（前任・県北広域振興局水産部）
企 画 指 導 部	
部 長 宮 田 小 百 合	
主任行政専門員 今 村 朗	
専門研究員兼水産業普及指導員 及 川 光	
漁 業 資 源 部	
部 長 小 川 元	
上 席 専 門 研 究 員 小野寺 光文	
上 席 専 門 研 究 員 清 水 勇 一	
主 任 専 門 研 究 員 森 友 彦	
専 門 研 究 員 岡 部 聖	
技 師 太 田 倫 太 郎	
技 師 村 上 泰 宗	R6.4.1 新採用
利 用 加 工 部	
部 長 川 崎 義 也	
上 席 専 門 研 究 員 上 田 智 広	R6.4.1 転入（前任・沿岸広域振興局水産部）
上 席 専 門 研 究 員 小 野 寺 宗 伸	
増 養 殖 部	
部 長 小 林 俊 将	
主 任 専 門 研 究 員 渡 邊 隼 人	

職 氏 名	転 入 等 の 状 況
専 門 研 究 員 川 島 拓 也	R6. 4. 1 昇任（技師）
専 門 研 究 員 及 川 仁	
専 門 研 究 員 寺 本 沙 也 加	
漁 場 保 全 部	
上 席 専 門 研 究 員 加 賀 新 之 助	R6. 4. 1 昇任（主任専門研究員）
主 査 専 門 研 究 員 高 木 稔	
主 査 専 門 研 究 員 渡 邊 志 穂	
専 門 研 究 員 多 田 裕 美 子	
岩 手 丸	
船 長 心 得 村 上 孝 弘	R6. 4. 1 昇任（主任機関士）
上 席 航 海 士 金 野 善 広	
主 査 機 関 士 村 上 和 人	
主 任 通 信 士 黒 沢 清 隆	
主 任 航 海 士 中 村 宏	
航 海 士 佐 々 木 達	
航 海 士 川 村 昇 吾	
機 関 士 市 川 慶 次	
機 関 士 大 下 惣 太	
北 上 丸	
船 長 心 得 福 士 正 紀	R6. 4. 1 転入（前任・漁業取締事務所）
航 海 士 武 田 拓 也	
機 関 士 佐 野 健 太 郎	
機 関 士 細 谷 優 太	
機 関 士 佐 々 木 幹 郎	
航 海 士 野 田 明 正	